

農業集落排水施設の汚泥を原料とした汚泥発酵肥料の活用



出雲市上下水道局キャラクター
みずもちゃん

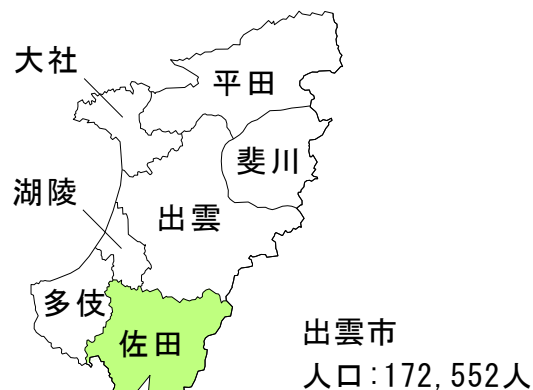
出雲市上下水道局

発表者：下水道管理課 係長 神田 敦也

農業集落排水施設等の汚泥を原料にした汚泥発酵肥料「出雲佐田ゆうき」



位置図



佐田地域
人口: 2,782人



取組の経緯

旧佐田町が平成16年度に汚泥処分の経費削減と汚泥の再資源化を図り資源リサイクルを行うために、資源循環施設の整備を実施した。

肥料利用までの流れ

資源供給者

出雲市

農業集落排水施設
市設置浄化槽

汚泥

もみ殻

肥料製造者

出雲市

(有)エコプラント佐田
資源循環施設

肥料利用者

個人農家

水稻・野菜
果樹・花き

販売



農家

精米施設



出雲佐田ゆうきを販売します

1袋 40kg (10kg x 4袋)

「出雲佐田ゆうき」は、佐田地域の農業集落排水施設
で発生する下水汚泥を脱水し、
乾燥させた、自然にやさしい「リサイクル肥料」です。

●肥料成分	
窒素(N)	1.8%
リン(P)	1.4%
カリウム(K)	0.3%
炭素(C)	11

もみがらを混ぜています。



年間約3,000袋

農業集落排水施設等の汚泥を原料にした汚泥発酵肥料「出雲佐田ゆうき」

利用者の声

- ・ 苺、白菜、じゃがいもの出来が非常に良い。
- ・ 土が軟らかくなり良い土が作れる。
- ・ 臭いが無く、肥料も軽いので作業がしやすい。
- ・ 価格が安い。



今後の課題

- ・ 副資材のもみ殻の確保が難しくなっている。
- ・ 移動式脱水車等の機器が老朽化してきている。

